

綿120パーセント

成人向同人誌

**Girls &
GoblinSlayer**
for Adults ONLY





おい…



さてと…この褒美は何にしようかな？

このゲームは本当に面白かったです

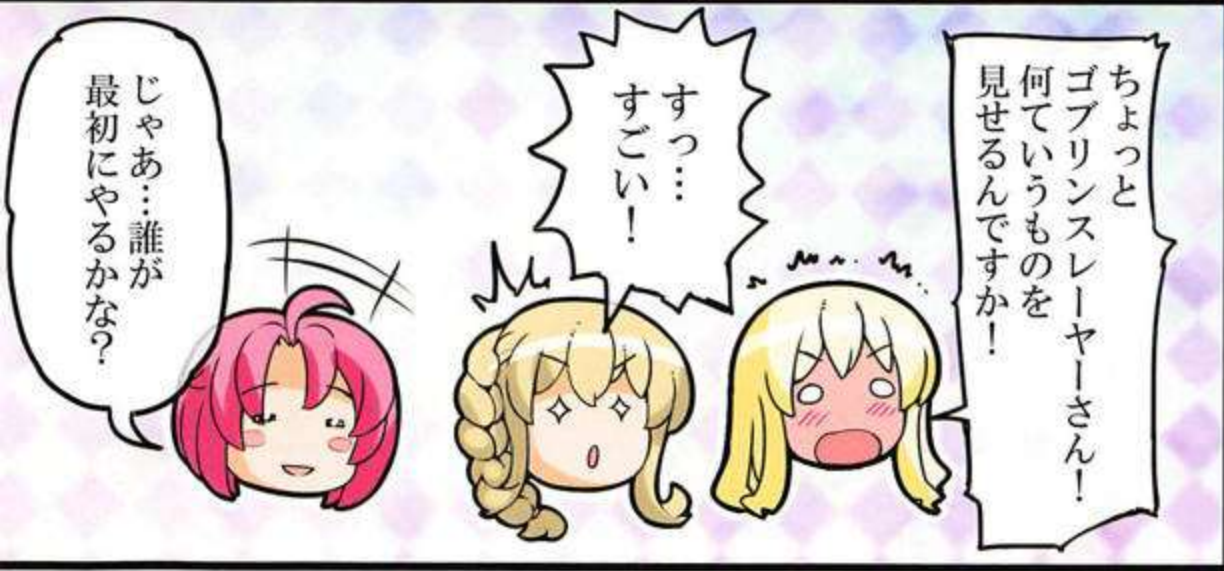


「やったわ！」
「私の勝ちね」



「はいはい…
またゴブリン退治よね…
まったく…」

「ちよつと厄介なことになった。手を貸してほしい」



じゃあ…誰が最初にやるかな？

すっ…
すごい！

ちよつとゴブリンスレーヤーさん！何ていうものを見せるんですか！



処理を…頼めるか？

いや…今朝知人からもらった薬を飲んだんだがこのようになった

このままじゃゴブリン退治に集中できない



ああ…頼む！

それなら2階のVIPルームを使ってください

さっきのご褒美はこれよ！このわたしが最初にやってあげるわ喜びなさい！

決めたわ！

POISONED

「そんなにじっと見ないで」

「オルグ・ボルグも服を脱がなきゃ！」

「兜もね」

「驚いたわ！
なんて大きなおちんちんなの…」

「ぺろぺろするだけで
満足するかなあ？」

「やっぱ」

「いじめるか——」

「ほ」

「は」







「もっと…もっと
奥に…ああ」

「あ…あ…あ」

「あ…あ…あ…あ」

「オルグ・ボルグのおちんちん…
きもちいい…」

「やはり
一発だけでは
ダメか…?」

「えっと…次は
私たちでしょうね」

「んおおおおあああ
!!」





—命の恩人とキスしました

ああ…早く入れたい…

キッポ

キッポッ

あゝん
あゝん

ん
ん

ん
ん

ん
ん

ん
ん

「ああん…憧れの人と初めて…」

「気持ちイイ!!」

「おちんちんが入って来る…ああ」

「腰が止らないです!」

「凄く…!!」





「うっ…我慢の限界だ」

あ
「らめ…も…も…も…
気持ちよくして…!!!」



「もうイクぞ!!外に出すか!」

「さ…さ…」

あ
「…の…中…で…!!」





「ふおおあああああ」
「!!」



「次のお手伝いなのですが、お願いがあります」

「ゴブリンスレーヤーさん!」



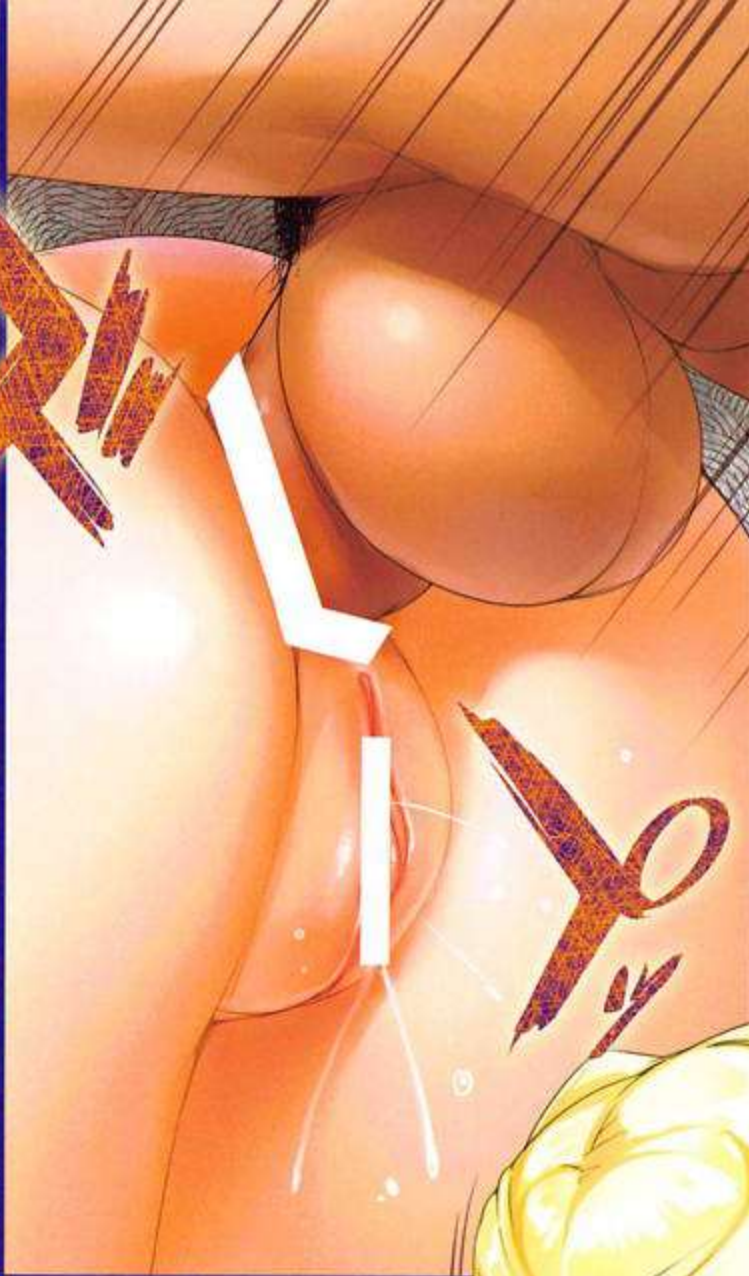
「ああ…お互いにな…」

「お疲れ様です、
ゴブリンスレーヤーさん」

ハイー

ミラ

ハイー



「心配かけて…すまない…」

「わ…私…いつか必要なときに
ゴブリンスレーヤーさんに
リザレクション発動の協力が…
だから…あん…」

「お尻だけ使わせて
いめんなよこ………」

あ!!

ハハハ

ハハハ

ハハハ

あ!!

あ!!

はあー

はあー

はあー

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

「おまえの尻…
気持ちよくていいぞ…!」

また
褒めてくれましたね!
うれしいです!!

「ああ…体が熱くて
気持ちいい!」

「いっちゃうっ!
はあああああお——っ!!」





「よし、そろそろゴブリン退治を…」



ゴブリンスレーヤーさん
わたし…
お役に立ちましたか？

ああ…やっと元
戻った…助かった！



だめ!!



—いつちや…



「こんななんじゃ
外に出れないわね…
すつきりしたい?」

「たっ…頼む…」



グッグッ

ああ!!

DANGER



「あたし以外の子と
やりまくって！」

ひびくよー

「もう大丈夫だから、
その…服を着ろよ…
風邪を引くぞ！」

えっ!?



10-1
10-1
10-1

「あっ…いきなり！
牛さんの交尾みたいに突き上げて、
き…気持ちいいわ!!」

やっとキスしちやった!

いっしょ♡

はあー

キス

あー

あー

あー

あー

あー♡

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー

あー



「もっと早くして…」

「もっと奥まで来てえ…!!」

「あーあー」

「あー」

「あー」



「俺…もう…」

「ぜんぶ…出して…
あたしの中を
いっぱい満たして!!」

「あーあー」
「あーあー」
「あーあー」
「あーあー」



「あーあー」

「あーあー」

「あーあー」
「あーあー」
「あーあー」
「あーあー」

「あたしもイク！」

「ああああああー！！」

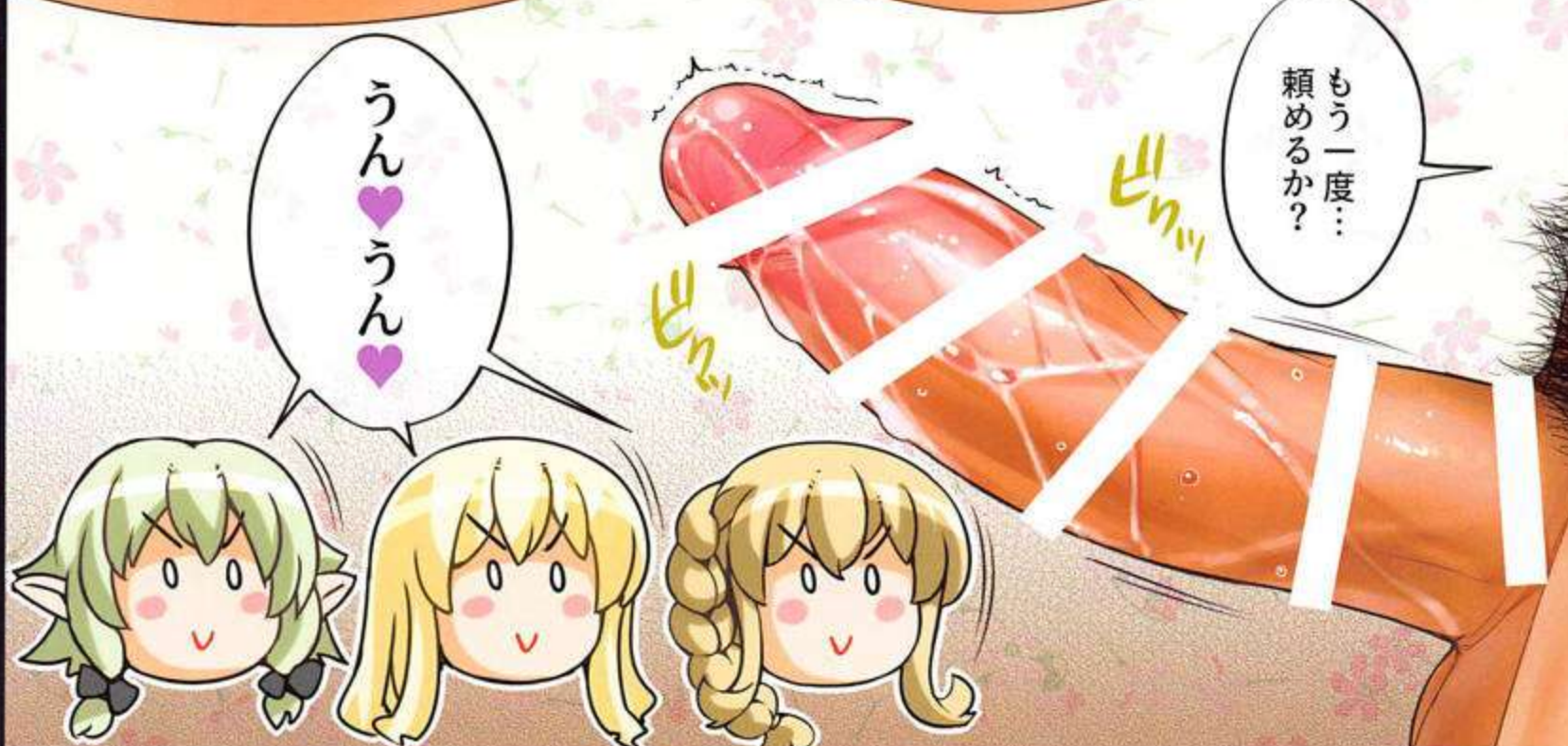


あら。。

彼に

間違った薬を

あげちゃった
みたい。。



もう一度..
頼めるか？

うん♡うん♡

《間章》

繁殖期の交尾のように何度も動物のような声を出してイキまくったため、4人の女の子たちは精魂尽き果ててしまった。

仕方なくゴブリンスレーヤーは部屋を出たのだが、わずか3秒で、廊下にいた他の冒険者一党に捕まってしまい、隣の彼女たちの部屋へと連れ込まれてしまった.....。



【あとがき】

こんにちは、みなさん。久しぶりのハーレム系です。どの子も可愛く痴態もたくさん描いてみましたが、いかがでしたか？次回作もよろしくおねがいしますと言いたいところですが、その前に、まず続きの間章もお楽しみくださいませ～

めんようじゃん

Girls & GoblinSlayer
for Adults ONLY

発行：綿120パーセント・めんようじゃん
発行日：2019年5月19日
印刷：サングループ 様
連絡先：menyoujan@gmail.com
十八才未満の閲覧、購入は禁止します
無断複製・複写は禁止します
データ化・web上へのアップロードなども禁止します。
Do not upload this book to Internet.

「これは村を守るためのお礼だぞ
勘違いしないでね」

「だめ……!!
そこは……まだ、
だれにも」

「ああ」

あげたことないのに……!

「そうか」

「あっ、ああ……責任を取ったら……
あなたを見逃します……んああ!!」

「……………」



—ああ…おちんちんが…
口の中で大きくなった…

ぢゅぽ

「だっ…だめ……！」

「お尻は弱い…こんなに出たり入ったりしたら
私…変になっちゃう!!
ゴブリン殺しさん!!」

「オレはゴブリンスレーヤーだ」



「んああ…お尻の中に熱いものがいっぱい出て…
気持ち…いい!!」





「おおおおおおお」
!!!

「んおお」



お兄ちゃんに
キスされちゃった、
ファースト
キスだったのに……



初めてか？

うん……だから
優しくしてください……



はあ

「ああ……とても気持ちいい……」

お兄ちゃん……いい……!!!

最後に三人一緒に!

「わたしもあなたのこと...
お兄ちゃんと呼んでもいい?」

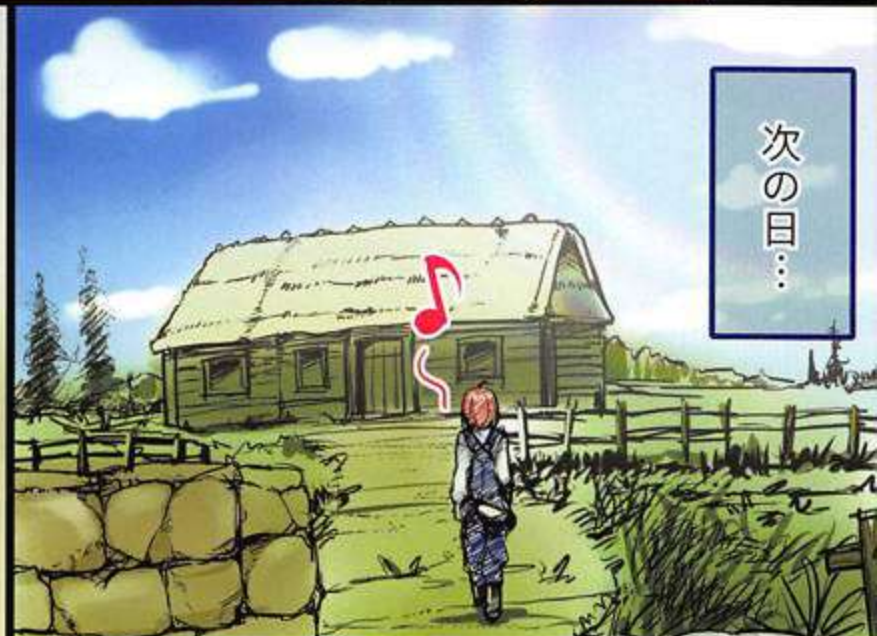
「口の中ごっばごっばごっばして!!」

「ああ...赤ちゃんの名前、考えなきゃ...」

この光景を見たら
たとえ神さまであっても
嫉妬したであろう...そして



次の日...



おっはよう
目覚めたか?
一緒に朝ご飯
食べよう



ええ!!

「いったい何が起ったの...!!!」

「分からん...朝起きたら
この様に...その...
女のからだになっていた!」

翌日、
神さまはいたずらが過ぎたと思って
"ゴプリンスレイヤーちゃん(♀)"を
元の姿(♂)に戻しましたとき。





Girls & GoblinSlayer
Presented by 綿120パーセント・めんようじゃん
FOR ADULTS ONLY
SPRING 2019

【免責】
本書の内容に関し本書発行人はいかなる保証もいたしません。また本書により発生したと推察される
トラブルや損失・損害および不利益に対して本書発行人は一切責任を負うものではありません。